



琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	ディゼルエンジンの構造作用及取扱法 (3)
Author(s)	真喜志, 康二
Citation	琉大農家便り(23): 10-10
Issue Date	1957-10
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19771
Rights	



国立大学法人
琉球大学
University of the Ryukyus

ディーゼルエンジンの

構造作用及取扱法

(三)

2、燃料噴射等より燃料が噴射

しない場合

イ、ノズルが閉塞している場合、噴射小孔を磨汰等が詰つてい
ることがあり分解掃除する。

ロ、ノズルバルブがノズルボディに固着して動かない場合、予備
品があれば取換え後手入する。

3、エンジンが始動困難な場合

イ、粘度の大なる潤滑油を用うれば始動困難となることがある
ノズルの噴射具合を確かめた後、ホッパへ熱い湯を入れて始
動する。

ロ、圧縮力が足りない場合

圧縮力を作るため吸気弁を迅速に閉合せしバルブタイミング
を調へる事。又ピストンリング不良のため圧縮なきことあ
り、この場合はピストンリング入替のこと。

ハ、運動部が焼付いてターニングハンドルにて回転が重く困難
なる場合、分解調査後焼付部の手入をすること。

ニ、燃料高圧パイプ破損の場合
取替えるか又は修理する

4、エンジンの出力不足のとき

イ、シリンダ内の圧縮力が足りない場合、3の口参照

ロ、燃料油不足の場合

1、のホ参照

ハ、運動部が焼付いている場合

3のハ参照

ニ、燃料ポンプの噴射時期がおくれている場合、タイミングを
調へる。

ホ、熱料パイプの高圧パイプのニツプルナットが少し弛んでい
る場合又は高圧パイプの一部破損し燃料が漏れる場合、
高圧パイプのニツプルナットを固く締めること、パイプの破
損部を修理す、修理不能なれば取換えること。

ヘ、バルブタイミング不良の場合、調整すること

ト、ガバナ不良の場合、点検調整する。

チ、空気清浄器が閉塞している場合直ちに開けること、

5、排気色著しく悪い場合

イ、過負荷となつた場合、負荷を軽くすること、

ロ、燃料油の不良の場合、良質のものを使用すること、

ハ、運動部に焼付箇所を生じた場合、3のハ参照

ニ、潤滑油不良なる場合、良質のものを使用すること、

ホ、ノズルの噴射時期及噴射状態が悪くなつた場合、
ノズルの噴射時期及噴射状態を調べ之を調整すること、

6、エンジンが空然停止した場合

イ、燃料油が絶えた場合、補充すること、

ロ、燃料ポンプの故障により送油停止した場合

故障箇所を調べ修理不能の際は部品を交換する。

ハ、潤滑油不足のため運動部が焼付いた場合、分解手入する

ニ、給水杜絶しシリンダを過熱した場合、分解手入する。

7 エンジンを急激に停止すべき場合

イ、回転が急激に上昇又は降下した場合、

ロ、突然異様な音響を發した場合

ハ、排気色が急に悪くなつた場合、

ニ、軸受部の發熱せる場合 (完)

(眞智志康二)

あとがき

先日全端をおまつた台風フエイは不意にしかもかなり大きく
暴れたので、人畜を初め家屋や農作物その他に多大の損害を与
えました。被害者の皆様には非常にお気の毒でございました。
誌上にてお見舞申上げます。

本誌はかねてから愛読者の皆様の御要望で、去つた八月から
各市町村とも従来の配布部数の三割程度増部致しました。これ
で一人でも多く勉強が出来ることを皆様と共に喜んでいきます。
尚御丁寧な質問がいくつか届いていますが、記事ふくそうのため
勝手乍ら適宜にやらせて頂きます。前号の続き「可変半経プロ
ット法による林分材積測定法」は都合により次号に廻します

発行所 琉球大学農家政学部
発行人 島 俊 一
印刷所 沖繩タイムス社